

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年3月27日(2008.3.27)

【公表番号】特表2007-526302(P2007-526302A)

【公表日】平成19年9月13日(2007.9.13)

【年通号数】公開・登録公報2007-035

【出願番号】特願2007-501797(P2007-501797)

【国際特許分類】

C 07 K 14/47 (2006.01)

C 07 K 1/34 (2006.01)

C 07 K 14/76 (2006.01)

【F I】

C 07 K 14/47

C 07 K 1/34

C 07 K 14/76

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月8日(2008.2.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

目的タンパク質を供給流から分離する方法であって、

(a) 精密濾過装置により前記供給流を濾過して、精密濾過保持液および精密濾過透過液を作成し；

(b) 前記目的タンパク質の分子量より小さい分子量カットオフ値をもつ第一タンジェンシャルフローフィルトレーション装置により前記精密濾過透過液を濾過して、前記目的タンパク質ならびに他のタンパク質を含有する第一タンジェンシャルフローフィルトレーション保持液、および前記供給流中に最初に含まれている塩および糖を含む第一タンジェンシャルフローフィルトレーション透過液を作成し；

(c) 前記精密濾過透過液のイオン強度より実質的に小さいイオン強度を有するダイアフィルトレーション緩衝液を用いて、前記第一タンジェンシャルフローフィルトレーション保持液をダイアフィルトレーションにかけ、それによって前記目的タンパク質の分子サイズを選択的に増大させ；さらに

(d) 前記目的タンパク質の分子量よりも大きい分子量カットオフ値により特徴付けられる膜を有する少なくとも1つの濾過膜を含む第二タンジェンシャルフローフィルトレーション装置により、前記工程(c)において作成されたダイアフィルトレーションを受けた第一タンジェンシャルフローフィルトレーション保持液を濾過して、前記工程(c)において作成されたダイアフィルトレーションを受けた第一タンジェンシャルフローフィルトレーション保持液中の前記目的タンパク質の純度よりも高い純度で前記目的タンパク質を含む第二タンジェンシャルフローフィルトレーション保持生成物を作成する；工程を含み、前記関心タンパク質が1～1000kDaの分子量を有することを特徴とする方法。